

リハビリ病院中期行動計画の収支計画の変更について

1. 中期行動計画記載の収支計画の変更について

中期行動計画記載の収支計画（中期行動計画）は、当法人が運営する初台リハビリテーション病院の患者動向、医業費用等の運営実績、船橋市内の回復期リハビリ病床数、救急病院数等の地域特性、診療報酬を検討し作成した。収支計画では、平成20年度開院から200床稼働するまでは、空床発生による収入減と稼働病床数に関係なく生じる医療機器保守料・施設維持管理費等の固定費の支出により赤字となるが、稼働病床が多くなるに従い赤字が減少し平成22年度下半期にはほぼ収支が均衡する計画とした。（別紙1「リハビリ病院収支計画（変更前）」）

しかし、20年度決算及び21年度決算見込みによると患者の疾病傾向、医業費用の増加、個室使用者の減少、診療報酬の改正など中期行動計画作成時の想定とは異なることとなった。そこで、20年度決算及び21年度決算見込みを基に22年度の収支計画を修正するとともに22年度下半期黒字化目標を達成するための改善策を追加した。（別紙2「リハビリ病院収支計画（変更後）」）

2. 22年度収支計画の変更項目

（1）20年度決算及び21年度決算見込みに基づき変更する項目

- 変更点 1 入院患者数の変更
- 変更点 2 個室使用者数の変更
- 変更点 3 個室単価の変更
- 変更点 4 外来単価の変更
- 変更点 5 訪問リハビリ事業の追加
- 変更点 6 医業費用の変更
- 変更点 7 医業外収益の変更
- 変更点 8 医業外費用の変更

（変更点1）入院患者数の変更

市内の回復期リハビリ病床は、不足（必要数約300床、リハビリ病院除く病床数108床）しており、リハビリ病院が200床稼働しても高い患者

需要が見込まれる状況にある。20年度決算の入院患者数は18,145人（年平均病床稼働率77.3%）、21年度は37,414人（年平均病床稼働率75.4%）を見込む。患者需要が有りながら年平均稼働率が低い原因は、開院年度の20年度から22年度は毎年度2病棟が新規稼働し、この新規病棟では①新規職員の研修により100日程度稼働できないこと、また②稼働しても入院当初から質の高いリハビリを提供するため1日1人の入院受け入れとし病棟定員に達するまでにある程度日数を要することから年間約4,600床（約18%）の空き病床が発生し年平均稼働率を下げているためである。しかし、各年度末3月1か月間の稼働率では20年度約97%、21年度約95%と高い需要を示している。

22年度の入院患者数は、61,495人（年平均稼働率84.2%）、中期行動計画より1,000人程度多い入院患者数とする。これを実現するため、市内の回復期リハビリ病床の不足により、リハビリ病院が200床稼働しても高い患者需要が見込まれる状況下にあるので ①医療センター及び医療センター以外の市内急性期病院との連携を推進する。②患者数確保の担保として21年度から実施しその効果を実証された市外病院への空床情報提供、ホームページの入院案内・Q&Aの充実等患者増加策を継続する。

（変更点2）個室使用者数の変更

20年度決算の個室使用者数は2,260人（年平均稼働率54.6%）、21年度決算見込みは3,774人（年平均稼働率43.1%）、いずれも中期行動計画より低くなっている。22年度の個室使用者数は、中期行動計画より3,200人程度減の9,052人（年平均稼働率62%）とする。その積算根拠は、変更点1の22年度の入院患者61,495人（1日168.5人）を4床室（40室）と個室（40室）に振り分け、4床室稼働率をほぼ満床の90%、残りの患者を個室利用者、その稼働率を62%として算出した。

（変更点3）個室単価の変更

20年度個室単価の決算額は17,209円、21年度決算見込み額は15,552円であるので、22年度は中期行動計画の15,163円を15,552円とした。

（変更点4）外来単価の変更

20年度決算額8,862円は、開院年度で初診の割合が多いなどの理由により中期行動計画よりも高くなった。21年度決算見込み額は7,771円となるので、22年度は中期行動計画の7,000円を7,771円とした。

(変更点5) 訪問リハビリ事業の追加

訪問リハビリの20年度決算は単価5,853円、訪問件数1,061件(1日3.6件)、21年度決算見込は単価6,902円、訪問件数4,654件(1日15.2件)である。22年度は訪問リハ単価6,902円、訪問件数9,431件(1日30.7件)を見込み約6,500万円の収益を計画した。これを実現するため、訪問リハビリの需要は退院患者以外の方に多く対応が追いつかない状況下にあるので、担当職員を21年度の約2倍の8人程度配置する。

(変更点6) 医業費用の変更

22年度の給与費は職員配置数の変更(変更点9)により、材料費、設備関係費は20年度決算額、21年度決算見込み額に合わせて変更した。その結果、医業費用は約2億7千万円増加した。(うち給与費約2億2,200円増加)

(変更点7) 医業外収益の変更

20年度から市運営費補助金の交付を受けており、21年度は約1億6千万円、22年度は約1億5,300万円交付を受ける予定であるので、医業外収益合計で約1億5千万円増加した。

(変更点8) 医業外費用の変更

22年度は支払利息等約1,150万円増加した。

(2) 22年度収益増を図るため変更する項目

病床種別を一般病床から療養病床に変更したことにより、リハビリ病院として最適な職員配置が可能となった。入院リハビリ、外来リハビリ、訪問リハビリのサービス向上と収益増を図るため理学・作業療法士を増員するなど職員配置数を変更する。

変更点9 理学・作業療法士の増員等の職員配置数の変更

変更点10 入院単価の変更

変更点11 外来患者数の変更

(変更点9) 理学・作業療法士の増員等の職員配置数の変更

職員配置の変更

単位:人

	区 分	平成21年度		平成22年度		
		行動計画	決算見込み	行動計画a	変更計画b	増減(b-a)
職 員 配 置 計 画	医師	8	7	14	9	-5
	看護師	54	52	78	84	6
	看護補助	44	42	67	59	-8
	理学療法士	48	58	65	84	19
	作業療法士	46	52	61	75	14
	言語聴覚士	22	16	29	23	-6
	医療相談	6	7	8	10	2
	薬剤師	5	4	7	6	-1
	栄養科	5	15	7	20	13
	調理師	14	7	20	8	-12
	事務	14	17	20	18	-2
	放射線技師	2	2	3	2	-1
	臨床検査技師	2	2	3	2	-1
	栄養パート	0	16	0	20	20
	看護師パート	0	5	0	5	5
	合 計	270	302	382	425	43
給与費(千円)	1,480,528	1,578,808	2,060,240	2,282,360	222,120	

(変更点10) 入院単価の変更

20年度決算入院単価は36,216円、21年度決算見込みでは38,259円である。22年度は入院基本料の増加とリハビリ職員増によるリハビリ料の増を見込み中期行動計画36,200円を38,700円とした。入院単価の積算は以下の表のとおり。

区 分	入 院 単 価 内 訳			単位:円	
	入院基本料 a	食事費 b	リハビリ料 c	計(a+b+c)	※リハ単位数
20年度決算	14,954	1,945	19,317	36,216	8.22
21年度決算見込み	16,263	2,021	19,975	38,259	8.50
22年度変更計画	16,700	2,000	20,000	38,700	8.50

※リハ単価は1単位20分

病棟別入院基本料の概算				単位:円		
区		分		20年度 決算	21年度 決算見込み	22年度 計画
4F病棟 64床	回復期 リハビリ	稼働月数				10
		入院料				16,900
	療養 病床	稼働月数				2
		入院料				7,500
3F病棟 68床	回復期 リハビリ	稼働月数			10	12
		入院料			16,900	17,400
	一般 病床	稼働月数			2	
		入院料			6,250	
2F病棟 68床	回復期 リハビリ	稼働月数	9	12	12	
		入院料	16,900	17,400	17,400	
	一般 病床	稼働月数	3			
		入院料	9,116			
入院基本料(平均病棟入院料)				14,954	16,263	16,700

(変更点11) 外来患者数の変更

20年度決算の外来患者数は4,570人(1日15.7人)、21年度決算見込みは11,440人(1日37.3人)である。22年度は中期行動計画22,344人より600人程度多い22,982人(1日74.9人)とした。これを実現するため、在宅高齢者の外来診療の需要は多いので、担当職員を21年度の約2倍の17人程度配置する。

3. 平成22年度収支計画の純利益増加額

(1) 収益増額

ア 医業収益	262,878千円増加	
イ 医業外収益	150,649千円増加	
計	413,527千円増加	・・・a

(2) 費用増額

ア 医業費用	270,100千円増加	
イ 医業外費用	11,498千円増加	
計	281,598千円増加	・・・b

(3) 純利益増加額 (a - b)

131,929千円

以上

リハビリ病院収支計画(変更前)

単位:千円

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
			年度	下半期	
医 業 収 益	入院診療収益	658,542	1,464,134	2,188,935	1,188,819
	室料差額収益	46,652	106,931	186,396	102,359
	外来診療収益	41,793	95,433	156,411	84,492
	その他医業収益	6,585	14,641	21,889	11,888
	計	753,572	1,681,139	2,553,631	1,387,558
	保険等査定減	-9,878	-21,962	-32,834	-17,832
益 計	743,694	1,659,177	2,520,797	1,369,726	
医業費用	1,173,185	2,007,500	2,704,100	1,354,997	
医業利益	-429,492	-348,323	-183,302	14,729	
医 外 益	患者外給食収益	5,746	11,093	15,558	7,779
	その他の医業外収益	14,357	14,357	14,357	7,178
	計	20,103	25,450	29,915	14,957
医 業 外 費 用	支払利息	11,674	17,061	19,410	9,732
	患者外給食材料費	6,399	12,354	17,328	8,664
	繰延消費税等償却	8,325	1,665	1,665	833
	その他医業外費用	3,934	3,934	3,934	1,967
用 計	30,332	35,014	42,337	21,196	
経常利益	-439,721	-357,887	-195,723	8,490	
税引前当期純利益	-439,721	-357,887	-195,723	8,490	
法人税・住民税等	530	530	530	530	
当期純利益	-440,251	-358,417	-196,255	7,960	

リハビリ病院収支計画(変更後)

単位:千円

区 分	平成20年度 決算	平成21年度 決算見込み	平成22年度		
			年度計画	下半期計画	
医 業 収 入	入院診療収益	659,253	1,431,422	2,379,857	1,297,263
	室料差額収益	38,892	58,693	140,777	76,734
	外来等診療収益	46,709	121,022	243,686	139,131
	その他医業収益	8,995	16,515	43,154	21,518
	計	753,849	1,627,652	2,807,474	1,534,646
医 業 益	保険等査定減	-2,115	-8,909	-23,799	-12,973
	計	751,734	1,618,743	2,783,675	1,521,673
医業費用	1,322,437	2,133,680	2,974,200	1,483,026	
医業利益	-570,703	-514,937	-190,525	38,647	
医 外 益	患者外給食収益	8,488	12,941	16,464	8,210
	その他の医業外収益	4,686	17,377	10,768	5,369
	船橋市補助金	171,400	159,721	153,332	
	計	184,574	190,039	180,564	13,579
医 業 外 費 用	支払利息	21,012	21,408	26,910	13,418
	患者外給食材料費	8,559	13,533	18,336	9,143
	繰延消費税等償却	3,503	4,655	4,655	2,321
	その他医業外費用	2,498	3,531	3,934	1,962
	計	35,572	43,127	53,835	26,844
経常利益	-421,701	-368,025	-63,796	25,382	
税引前当期純利益	-421,701	-368,025	-63,796	25,382	
法人税・住民税等	530	397	530	530	
当期純利益	-422,231	-368,422	-64,326	24,852	